

平成30年 3月18日

保護者の皆様

仙台市立長町南小学校
校長 齋藤 浩一

平成30年度 協働型学校評価について（お知らせ）

早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。つきましては、ご多用とは存じますが、ぜひお読みいただき、学校・保護者・地域の連携を更に深めるための一助としていただければと思います。

なお、今年度の協働型学校評価につきましては、学校関係者評価委員会の場において、委員の皆様から大変貴重なご意見、ご感想を頂戴いたしました。その場においての確認として、今年度の成果と課題を検証しながら、来年度も今年度と同じ重点目標を設定して取り組んでいくこととなりましたので、お知らせいたします。

今後とも本校の協働型学校評価の取組に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

平成30年度 協働型学校評価のまとめ ～「我が家の協働型学校評価の重点目標」への取組を通して～

1 本校の協働型学校評価における重点目標について

【平成30年度 協働型学校評価の重点目標】

人との関わりを大切に作る子供を育てる ～コミュニケーション力・生活習慣の育成～

2 成果の検証方法及び目標の達成度について

- ・アンケート回収率： 学年・学級間での差は認められましたが、全学年で90%を超える、高い回収率になりました。また、多くのご家庭でしっかりと目標設定をしていただき、取組への関心の高さをうかがうことができました。

- ・アンケートの結果：「我が家の重点目標」を設定して取り組んだ結果、ご家庭によって残された課題に差はあるものの、ほとんどのご家庭で「子供がより良く変わった」という記述が見られました。子どもの肯定的な評価をねらいとして目標が設定されていることを、各ご家庭でしっかりと捉え、取り組んでいただいたことがうかがえました。「子供の良いところを見つけ、伸ばす」という目的を達成できたものと考えます。
- ・職員及び評価委員からの報告： 学校及び各ご家庭において、目指すべき子供たちの姿と、そのための手立てを具体的に設定して取り組み、その変容について、振り返りを行いました。その結果から、子どもたちの変容を検証できました。

3 今年度の取組の成果

今年度、新たな取組として、各ご家庭でお子さんのあるべき姿を具体的に想定し、「我が家の協働型学校評価の重点目標」を設定し、親子でコミュニケーションを図りながら取り組んでいただきました。保護者の皆様、子供たち共に、協働型重点目標に対する意識を高めることにつながったものと思います。（※ 各ご家庭の取組で、参考にしていただきたいものを【別紙】で紹介させていただきました。）

学校においては、「人との関わりを大切にする」を主眼に置き、学校生活全般について、全職員で改善のための努力を続けてきました。各担任が具体的な手立てを講じて意識的に取り組み、繰り返して指導してきたことにより、一定の成果が得られました。特に、場に応じた即時的な対応を心がけることに効果が見られました。また、地域の方々からも、子どもたちの姿に対する肯定的な評価が多数寄せられています。

4 今後の課題

- ・ 来年度は2年目の取組となるため、今年度の取組や評価のもと、「児童の変容」や「保護者の我が子に対する見方の変化」について、どのように推移するかを見ていく必要があると思います。
- ・ 今後も、各ご家庭での取組と成果を担当が把握することに努め、ご家庭との連携のもとに推進していく必要があると思います。「協働型学校評価」の持つ意義や取組の効果等について、よりご理解をいただくための取組を継続して参ります。
- ・ 日常の声がけは必要ですが、それだけでは効果が上がらないこともあります。学校においては、学級や学年の実態、発達段階に応じて手立てを講ずると共に、成果と課題について常に検証しながら、より具体的で効果的な手立てを探っていく必要があります。
- ・ 道德教育や国語での敬語の指導、児童会活動等をとおして、職員の共通理解のもとに同じ方向を目指して取り組んできました。この取組を、今後も継続していきます。
- ・ 来年度も、学校関係者評価委員会での話し合い等をもとに、取組の成果と課題を踏まえ、子供たちの現状と課題を整理し、新たな年度の目標設定を行っていきます。